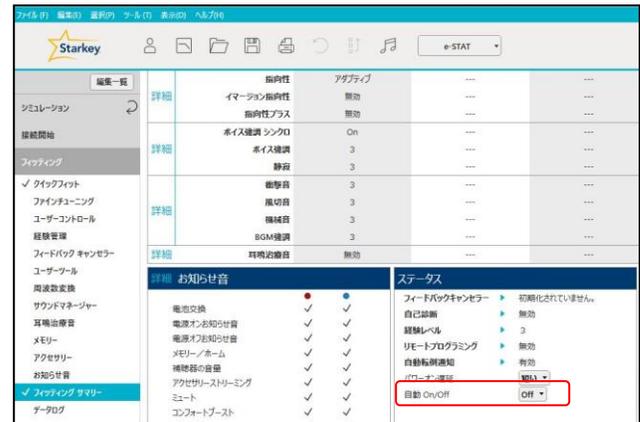


フィッティングソフト

Inspire X 2019.1 の変更点

自動 On/Off 機能を追加:

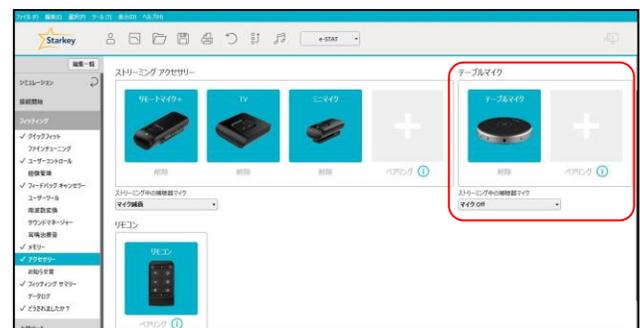
自動 On/Off は、Livio AI 補聴器のみのスリープ（休止）モードの機能です。この機能は、補聴器を耳から取り外してテーブルなどの平らな場所に置いておくだけで 15 分後には補聴器がスリープモード（慣性センサーのみ ON の状態）になります。補聴器を再起動させるには、単にテーブルから補聴器を持ち上げて耳に装着するだけです。この機能はデフォルト設定が Off なので、Inspire のフィッティングサマリー、または Thrive アプリにて On に変更ができます。[図 1]



[図 1]

アクセサリーの追加:

アクセサリー画面に新しい 2.4GHz アクセサリーとして「テーブルマイク」が追加されます。この画面では、Livio AI/Livio 補聴器とペアリングされているアクセサリーが表示され、直接ペアリング手順にアクセスすることができます。テーブルマイクには「ストリーミング中の補聴器マイク」の設定が他と独立しており、デフォルト設定は「マイク off」になっております。[図 2]
※近日発売予定ですので、しばらくお待ちください。



[図 2]

CROS 補聴システムの拡充:

CROS システムが 1200 クラスまで対応できます。5 クラス (AI 2400、2400、2400、2000、1600、1200)、3 スタイル (RIC R、RIC312、BTE13) で利用できます。[図 3]



[図 3]

フィードバックキャンセラーの設定変更:

フィードバックキャンセラーのオートゲイン調整機能はデフォルト設定で有効になります。

ツールバーの[選択]>[一般]の自動設定機能で無効にすることもできます。 [図 4]



[図 4]

Stream Boost メモリー:

Stream Boost メモリーでのボイス強調と衝撃音は NA (利用不可) となります。 [図 5]

音響オプション画面で「オープン」耳栓を選択した場合、ストリーミング中の補聴器マイクのデフォルト設定は、「マイク Off」(ミュート状態)になり、それ以外のフィッティングでは、これまでと同様に「マイク減衰」の状態になります。これにより、スマートフォンまたはアクセサリからストリーミングが、よりクリアで安定した音質になります。



[図 5]

電池残量表示:

空気亜鉛電池を使用する Livio AI/Livio 補聴器の場合、「接続開始」画面で電池残量アイコンが削除されました。充電タイプの補聴器は、引き続き表示されます。 [図 6]



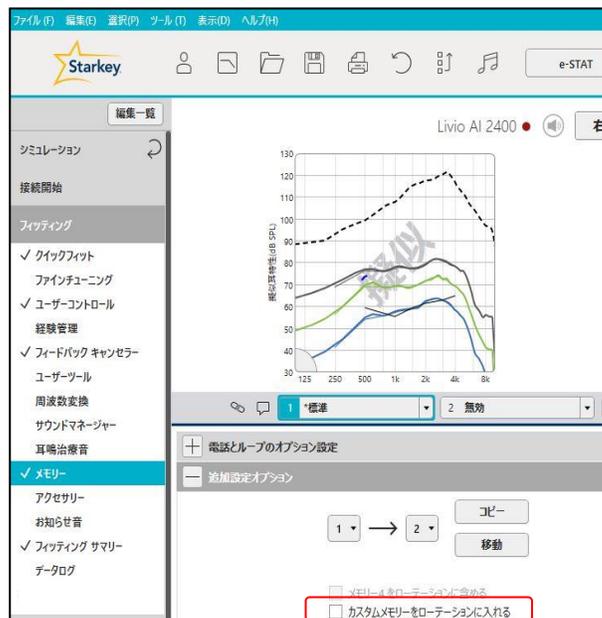
[図 6]

カスタムメモリー:

カスタムメモリーをメモリーのローテーションに含める機能はデフォルト設定で無効となります。

メモリー画面の追加設定オプション内の「カスタムメモリーをローテーションに入れる」を有効にします。

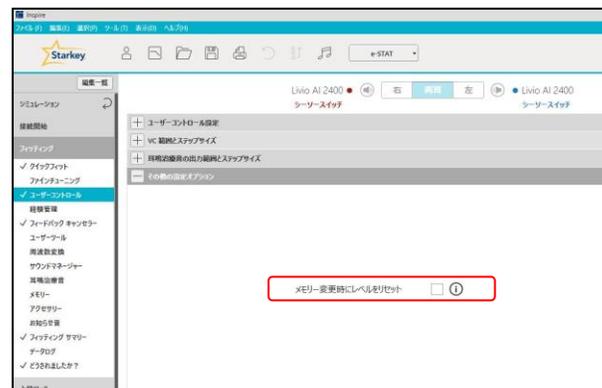
[図 7]



[図 7]

メモリー変更時にレベルをリセット (維持):

Stream Boost メモリーを含む、メモリーの変更時に補聴器のボリューム位置が維持されます。このリセット機能は、すべての製品でデフォルトが「オフ」になりました。ユーザーコントロール画面の「その他の設定オプション」内で変更できます。 [図 8]



[図 8]

性能更新について

LivioAI/Livio 製品の性能更新を行う場合、**新しい電池**または**フル充電の状態**で行うことを推奨いたします。